

一般36

胃癌低侵襲手術率(腹腔鏡)

$$\text{胃癌低侵襲手術率(腹腔鏡)} = \frac{\text{分母のうち、腹腔鏡手術が施行された患者数}}{\text{胃癌で治療前TNMがUICCステージ I に相当し対象の切除術が施行された退院患者数}}$$

胃癌低侵襲手術率(腹腔鏡)とは UICCステージとはがんの進行度を表します。IからIVまでに分類されています。

指標の説明 胃癌の手術には、内視鏡、腹腔鏡、開腹があります。合併症やがんの状態などにより、開腹より体への影響の少ない、内視鏡手術や腹腔鏡手術が選ばれる場合があります。

計算について	参考としたガイドライン等	日本胃癌学会胃癌治療ガイドライン http://www.jgca.jp/guideline/fourth/index.html
	データ除外	なし
	補正などの計算方法	なし
	データ基準日	2020年1月27日

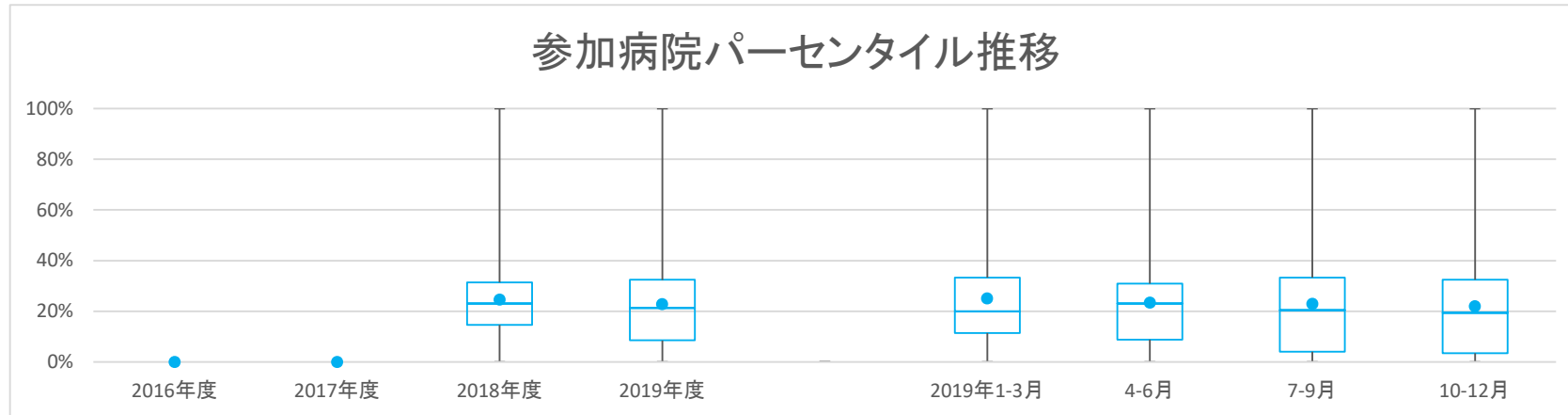
一般36

胃癌低侵襲手術率(腹腔鏡)

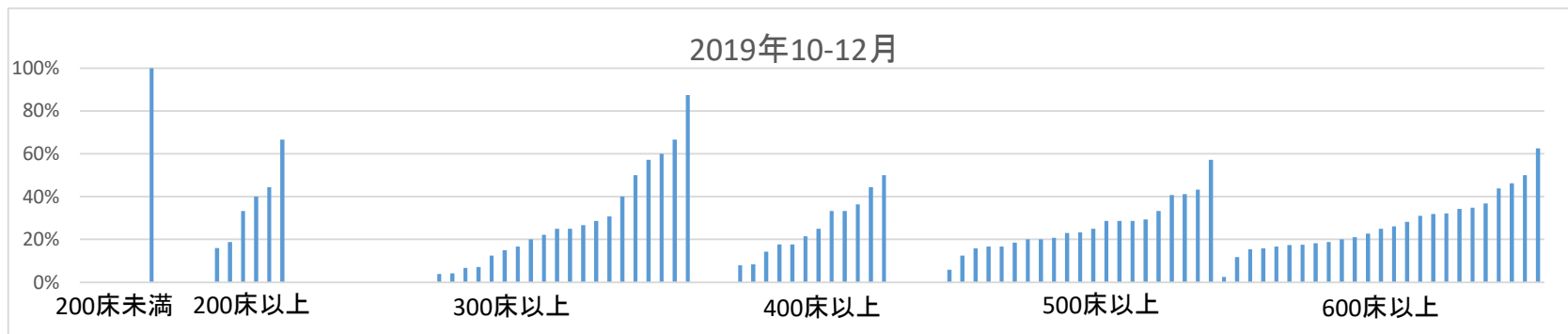
データのまとめ	対象病院群	精神科標榜なし、総合病院精神科無床、総合病院精神科有床							
	調査期間	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
データ登録病院数				133	126	114	118	118	112
分母合計				7588	5714	1858	1850	1944	1920
75パーセンタイル				31.4%	32.4%	33.3%	30.9%	33.3%	32.4%
中央値				23.1%	21.3%	20.0%	23.1%	20.4%	19.4%
25パーセンタイル				14.6%	8.5%	11.5%	8.8%	4.1%	3.5%
平均値				24.6%	22.8%	25.1%	23.3%	22.9%	22.0%
平均値(0を除く)				28.4%	26.8%	30.1%	29.3%	30.4%	29.0%

【時系列】 ●は平均値、他は上方から最大値、75パーセンタイル値、中央値、25パーセンタイル値、最小値

(2018年4月開始)



【直近データ分布】



医療の質の評価・公表等推進事業

一般36

胃癌低侵襲手術率(腹腔鏡)

(空白):該当なし、有効な登録数値なし、結果数値表示対象外 (*):全体集計より除外

病院名	許可病床数	2016年度			2017年度			2018年度			2019年度			2019年1-3月			4-6月			7-9月			10-12月		
		* 指標値	分母	分子	* 指標値	分母	分子	* 指標値	分母	分子	* 指標値	分母	分子	* 指標値	分母	分子	* 指標値	分母	分子	* 指標値	分母	分子	* 指標値	分母	分子
田川市立病院	300以上				30.8%	13	4	50.0%	2	1	33.3%	3	1												
筑後市立病院	200以上				15.2%	33	5	12.5%	24	3	11.1%	9	1	14.3%	7	1	28.6%	7	2	0.0%	10	0			
佐賀県医療センター好生館	400以上				34.0%	94	32	45.2%	42	19	30.0%	20	6	27.3%	11	3	61.5%	13	8	44.4%	18	8			
長崎みなとメディカルセンター	500以上				45.9%	37	17	31.8%	44	14	44.4%	9	4	36.4%	11	4	18.8%	16	3	41.2%	17	7			
荒尾市民病院	200以上				20.0%	20	4	28.6%	7	2	0.0%	4	0	25.0%	4	1	50.0%	2	1	0.0%	1	0			
大分県立病院	500以上							21.2%	33	7				25.0%	8	2	23.1%	13	3	16.7%	12	2			
宮崎県立宮崎病院	600以上				33.3%	3	1	40.0%	5	2							33.3%	3	1	50.0%	2	1			
沖縄県立中部病院	500以上				26.7%	15	4	0.0%	12	0				0.0%	6	0				0.0%	6	0			
沖縄県立宮古病院	300以上				0.0%	4	0	0.0%	3	0	0.0%	1	0	0.0%	2	0	0.0%	1	0						